

I 現代GPプログラムの概要とこれまでの経過

1 現代GPプログラムの概要

長岡大学の現代GPプログラム＝「産学融合型専門人材開発プログラム－長岡方式－」は文部科学省の平成18年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」（テーマ5：実践的総合キャリア教育の推進）＝現代GPに選定された。その概要は、次の通りである。

* 詳細は、本学ホームページ <http://www.nagaokauniv.ac.jp/gp/> ないし長岡大学ブックレット第8号『長岡大学教育プログラム』を参照されたい。

(1) 取組の概要

本取組は、新潟とくに中越地域の産業界の大学卒業者に対する人材ニーズと、本学で学ぼうとする若者たちの意識と人的特性との間にあるギャップを踏まえた上で、県内企業等が実際に採用したいキャリアを身につけた人材を開発・育成することを目的とするものである。

本取組は、①少人数でマンツーマン指導を前提とするゼミナールでの段階的な「ビジネス展開能力の開発」、②実用的な職業資格に対応した学習目標に向かって組織的・体系的に行う「資格対応型専門教育」、③能力開発と専門学習の双方に対して、連携企業の専門実務家と担当教員が一体となった連携FD（教育開発）チームが準備し指導する「産学連携実践型キャリア開発」の3つで構成される。

本取組においては、学生の満足度を価値基準とし、目標マネジメント方式によって学生個人の能力開発、教職員の質と教育方法の改善の自律的な発展を図る。

* ゴシックのフレーズがキーワード

(2) 取組の趣旨・目的

長岡大学は地域の産業界のニーズに対応した「幅広い職業人育成」を任務とする。

「産学融合型専門人材開発プログラム－長岡方式－」と名付けた本取組は、本学の学生を県内の企業等が期待する人材に育て上げて、県内の産業界に送り出し、地域の再生・活性化に資することを目的として、平成17年度から実施している。

(3) 学生教育の目標、養成する人材像

本学の基本理念に対応して、長岡大学改革宣言（平成16年10月発表）において、本学の中期目標を次のように掲げた。

地域社会、地域企業と連携し、地域の産業界との緊密な連携に基づく長岡大学独自の「ビジネス能力開発プログラム」を展開し、ビジネスを発展させるための企画を立て、提案し、実行させる能力（戦略、マーケティング、英会話）と人間力（チャレンジ精神、協調性）のある人財を創造する。

本取組「産学融合型専門人材開発プログラム－長岡方式－」はこの中期目標の「ビジネス能力開発プログラム」を発展させ、具体化させたものである。

(4) 養成する人材像のニーズと設定する学生教育の目標

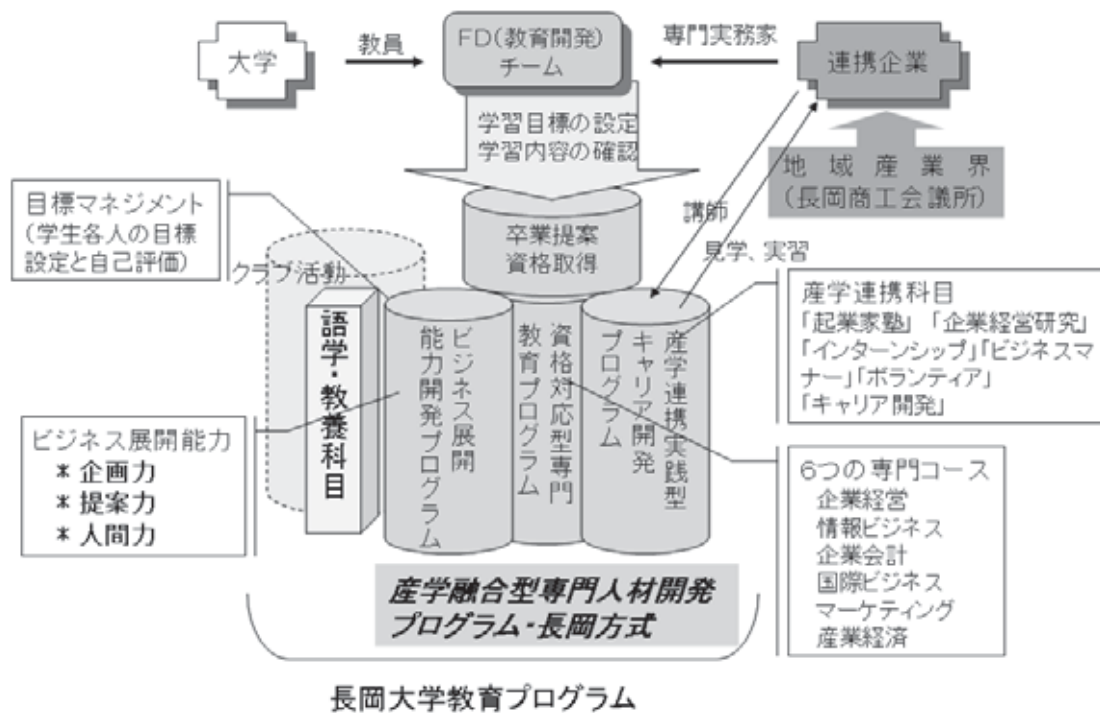
学生、企業へのアンケート調査等を踏まえて、学生教育の目標（学生が卒業までに到達すべき水準）は次のように設定した。

プログラム		学生が到達すべき目標	備考
ビジネス 展開能力開発	人間力	就職面接で合格する水準	意欲、協調性、責任感、行動力など
	企画力 提案力	「卒業提案」について、課題を提示した連携企業が期待する水準	大卒新入社員として平均以上
資格対応型専門教育		2つのコースで、目標としている専門資格を取得可能な水準	
産学連携実践型 キャリア開発		FDチームが科目ごとに定めた学習目標に達すること	

(5) 教育プログラム（教育課程、教育方法）の概要

学生に対して、「毎日の大学生活で充実感を、能力アップを確かめて達成感を、卒業のとき4年間を振り返って満足感を」実感させること約束している。この基本目標の達成を目指す「産学融合型専門人材開発プログラム—長岡方式—」の全体像は、図表1-1の通りである。

図表1-1 産学融合型専門人材開発プログラム—長岡方式—



本取組は次の3つのプログラムを柱にして展開する。

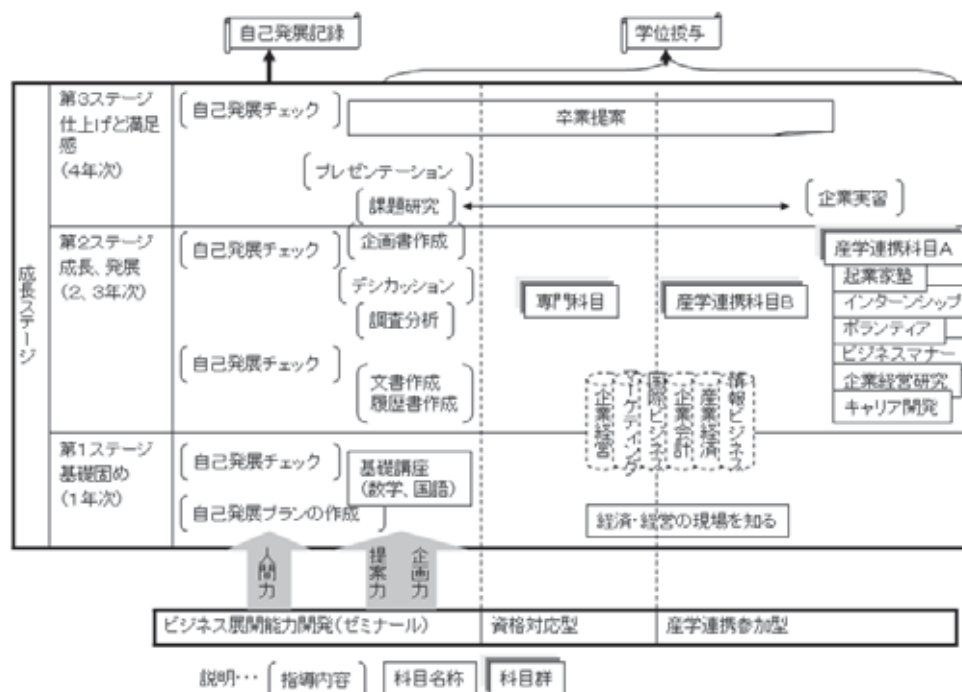
- A. ビジネス展開能力開発プログラム（4年間のゼミナールと卒業提案）
- B. 資格対応型専門教育プログラム（6つのコースと資格取得）
- C. 産学連携実践型キャリア開発プログラム（連携FDチームの指導、実践能力育成）

3つのプログラムの概要は図表1-2に示す通りである。

図表1-2 各プログラムの概要

	プログラム		
	ビジネス展開能力開発	資格対応型専門教育	産学連携実践型 キャリア開発
場	ゼミナールⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	専門科目	産学連携科目A、B
ねらい	・目標の自覚と自律的成長への動機付け ・企画力、提案力、人間力の育成	ビジネス現場で必要とされる専門知識とスキルの習得	ビジネス現場の理解と職業人としての動機付け
卒業時目標の設定	・人間力＝就職面接の合格 ・企画力、提案力＝「卒業提案」に対する連携企業の評価基準	コースごとの目標資格試験に合格できる水準	連携FDチームが科目ごとに設定した学習目標
到達状況の評価	・自己発展チェック・シートによる自己評価と指導教員の評価 ・フューチャーマップ法	・資格試験実績 ・学内テスト	・学内テスト ・連携企業側の評価
教育方法の開発	・自己発展チェック・シートによる指導方法 ・能力開発指導マニュアル	・学生授業評価による改善 ・補習の方法	・学生授業評価による改善 ・連携FDチームの提案

図表1-3 成長ステージと教育内容



A ビジネス展開能力開発プログラム

- ◇ 個別指導に重点を置くゼミナール（1～4年次、必修）
- ◇ 「目標マネジメント・マニュアル」および「企画力・提案力開発マニュアル」（平成18年度作成）を本プログラムの指針として学生への指導を展開する。
- ◇ 年次ごとの指導内容…図表1-3参照
- ◇ ゼミナール担当教員はゼミ学生の動機付け、能力開発、就職指導の全般にわたって責任を持つ。学生に対して「自己発展チェック・シート」（短中長期目標の設定と達成状況の自己評価）の作成と自己評価を指導。授業時間以外に月1～2回、学生との面談を行い、結果を「マンツーマン指導カルテ」に記載、全教職員の学生指導の参考にする。
- ◇ 「卒業提案」（4年次）では、企業等が実際に直面している問題を各学生の課題として取り上げ、連携FDチームの支援の下、企業での現場調査等を踏まえて改善あるいは解決策を提言する。

B 資格対応型専門教育プログラム

- ◇ 専門コースごとに学習の目標とする専門資格を定め、その資格を取得できる水準を達成目標（合格基準）とする。
- ◇ 目標とする専門資格取得に必要な学習内容に従って、専門科目を過不足なく配置し、科目間で授業内容を調整する。科目の設置、科目間調整はコース主任が行う。

C 産学連携実践型キャリア開発プログラム

- ◇ 「連携FD（教育開発）チーム」は、各コースの産学連携科目について、その学習内容と学習目標（合格基準）を定める。また、産学連携科目の科目ごとに「連携企業」が受け持つ実務家の講義、企業見学、企業実習の受け入れ等の計画を作成する。
- ◇ 産学連携科目A（体験・実習型）およびB（実践学習型）に関する教育、指導は教員と「連携企業」の専門実務家が協力して行う。

2 これまでの経過

平成18年度に採択された「産学融合型専門人材開発プログラムー長岡方式ー」＝現代GPプログラムの主な実施経過は、次の通りである。

<平成17年度>

4月10日	現代GP「産学融合型専門人材開発プログラムー長岡方式ー」申請。7月面接審査。最終選定に至らず。平成17年度から長岡方式推進本部（本部長：学長）を設置（毎月1回開催）し、当教育プログラムを開始。
-------	--

<平成18年度>

4月11日	現代GP「産学融合型専門人材開発プログラムー長岡方式ー」申請。7月7日面接審査、7月28日選定決定。 *申請内容等は、ブックレット第8号現代GPシリーズ2「長岡大学教育プログラム」に掲載
5月30日	平成18年度第1回長岡方式推進本部（本部長：学長）開催（以後、毎月1回開催）
7月7日	第3回長岡大学文化講演会「ニート・フリーターを出さない若者教育を考える」を開催。於：ホテルニューオータニ長岡 *内容等は、ブックレット第10号現代GPシリーズ4「第3回長岡大学文化講演会特集」に掲載
8月7日	第3回推進本部開催。現代GP選定にともなう調書・予算書を作成。 8月11日、文部科学省に提出
9月28日	現代GPの平成18年度予算確定 補助金交付決定額：11,491千円 補助対象経費額：11,491千円

10月2日	現代GP事務室設置
10月2日	ブックレット第7号現代GPシリーズ1「情報力を鍛える」刊行
10月5日	第1回 長岡大学連携FD（教育開発）チーム会議開催。 於：長岡グランドホテル
11月1日	ブックレット第8号現代GPシリーズ2「長岡大学教育プログラム」刊行
11月13日	文部科学省・平成18年度大学教育改革プログラム合同フォーラムに出展。 於：パシフィコ横浜
12月	授業アンケート（後期・通年科目分）実施
1月15日	ブックレット第9号現代GPシリーズ3「長岡大学教育プログラムⅡ」刊行
1月19日	平成19年度大学改革推進等補助金調書（現代GP調書）を申請
2月20日	ブックレット第10号現代GPシリーズ4 「第3回長岡大学文化講演会特集」刊行
2月26日	長岡大学現代GP教育フォーラム開催。於：長岡グランドホテル
3月15～ 16日	集中FD研究会開催（平成18年度現代GPプログラムの総括を行う）
3月20日	ブックレット第11号現代GPシリーズ5「2006長岡大学 起業家塾」刊行
3月30日	学生満足度調査「第2回長岡大生の生活と大学に関する調査報告書」刊行 授業アンケート「2006年度長岡大学講義等アンケート結果」刊行

<平成19年度>

4月2日	現代GPの平成19年度予算確定 補助金交付決定額：19,740千円 補助対象経費額：23,801千円
4月17日	平成19年度第1回長岡方式推進本部（本部長：学長）開催 （以後、毎月1回開催）
6月27日	第1回 長岡大学連携FD（教育開発）チーム会議開催。 於：長岡グランドホテル
6月	授業アンケート（前期科目分）実施
9月7日	第4回長岡大学文化講演会「脳科学と教育－21世紀の新しい教育を考える－」を開催。 於：ホテルニューオータニ長岡
9月11日	第5回現代GP推進本部開催。 「学生による地域活性化提案プログラム－政策対応型専門人材の育成－」が平成19年度現代GPに選定されたことに伴い、「産学融合型人材開発プログラム－長岡方式－」を「キャリアGP」、「学生による地域活性化提案プログラム－政策対応型専門人材の育成－」を「地域活性化GP」とそれぞれ略称とした。
10月25日	ブックレット第17号現代GPシリーズ7 「いま、なぜ大学改革か…21世紀の新しい大学像は」刊行
12月	学生満足度調査実施
12月	授業アンケート（後期・通年科目分）実施
1月25日	平成20年度大学改革推進等補助金調書（現代GP調書）を申請
2月20日	長岡大学現代GP教育プログラム報告会開催。於：長岡グランドホテル
3月11日	第2回 長岡大学連携FD（教育開発）チーム会議開催。 於：ホテルニューオータニ長岡
3月17日	ブックレット第18号現代GPシリーズ8「第4回長岡大学文化講演会特集」刊行

3月18～ 19日	集中FD研究会開催（社会人基礎力等の検討を行う）
3月30日	ブックレット第19号現代GPシリーズ9「2007長岡大学 起業家塾」刊行
3月30日	学生満足度調査「第3回長岡大生の生活と大学に関する調査報告書」刊行 授業アンケート「2007年度長岡大学講義等アンケート結果」刊行

<平成20年度>

4月1日	現代GPの平成20年度予算確定 補助金交付決定額：16,500千円 補助対象経費額：23,021千円
4月22日	平成20年度第1回長岡方式推進本部（本部長：学長）開催 （以後、毎月1回開催）
6月11日	第1回 長岡大学連携FD（教育開発）チーム会議開催。 於：ホテルニューオータニ長岡
6月	授業アンケート（前期科目分）実施
7月2日	第5回長岡大学文化講演会「若者の自立支援とキャリア教育」を開催。 於：ホテルニューオータニ長岡
9月9日	ブックレット第21号現代GPシリーズ11 「情報力を鍛えるー長岡大学における情報リテラシー・資格教育ー」刊行
10月25日	ブックレット第22号現代GPシリーズ12 「第5回長岡大学文化講演会特集」刊行
12月	学生満足度調査実施
12月	授業アンケート（後期・通年科目分）実施
2月12日	長岡大学現代GP教育プログラム報告会開催。於：ホテルニューオータニ長岡
3月11日	第2回 長岡大学連携FD（教育開発）チーム会議開催。 於：ホテルニューオータニ長岡
3月25～ 26日	集中FD研究会開催（社会人基礎力等の検討を行う）
3月31日	学生満足度調査「第4回長岡大生の生活と大学に関する調査報告書」刊行 授業アンケート「2008年度長岡大学講義等アンケート結果」刊行

3 平成 20 年度の推進体制

平成 20 年度の「産学融合型専門人材開発プログラムー長岡方式ー」＝現代 G P プログラムの推進体制は、次の通りであった。

<連携企業>

環境経済コース	株式会社ホクギン経済研究所、長岡商工会議所、長岡市
まちづくりコース	N P O 法人 醸造の町撰田屋町おこしの会 長岡・観光コンベンション協会
国際コミュニケーションコース	株式会社北越銀行、有限会社 Nikko International
経営戦略コース	北越製紙株式会社、マコー株式会社、ホテルニューオータニ長岡、 長岡グランドホテル
事務会計コース	株式会社大光銀行
マーケティングコース	安達紙器工業株式会社、株式会社日野屋玩具店、株式会社七里商店、 岩塚製菓株式会社
情報ビジネスコース	株式会社ジェイマックソフト、株式会社パートナーズプロジェクト、 株式会社バリューコンテンツ

<学内現代 G P 推進本部メンバー>

本部長	原 陽一郎	副本部長 現代 G P 室運営委員会委員長	原田 誠司
事務局長	梶井 克彦	副本部長 入学委員長	鯉江 康正
地域研究センター運営委員長 環境経済コース主任	石川 英樹	医療福祉経済コース主任 生活環境コース主任	平野 順子
医療福祉経済コース副主任	山川 智子	まちづくりコース主任	岡野 宏昭
国際コミュニケーションコース主任 F D 主査	広田 秀樹	学生委員長 経営戦略コース主任	松本 和明
事務会計コース主任	吉盛 一郎	事務会計コース副主任	田邊 正
マーケティングコース主任	伊吹 勇亮	教務委員長 学内情報システム委員長 情報ビジネスコース主任	高橋 治道
英語コース主任	石川 荘太郎	生涯学習センター運営委員長 図書館委員会委員長 キャリア教育主査	兒嶋 俊郎
現代 G P 室運営委員会副委員長	村山 光博		